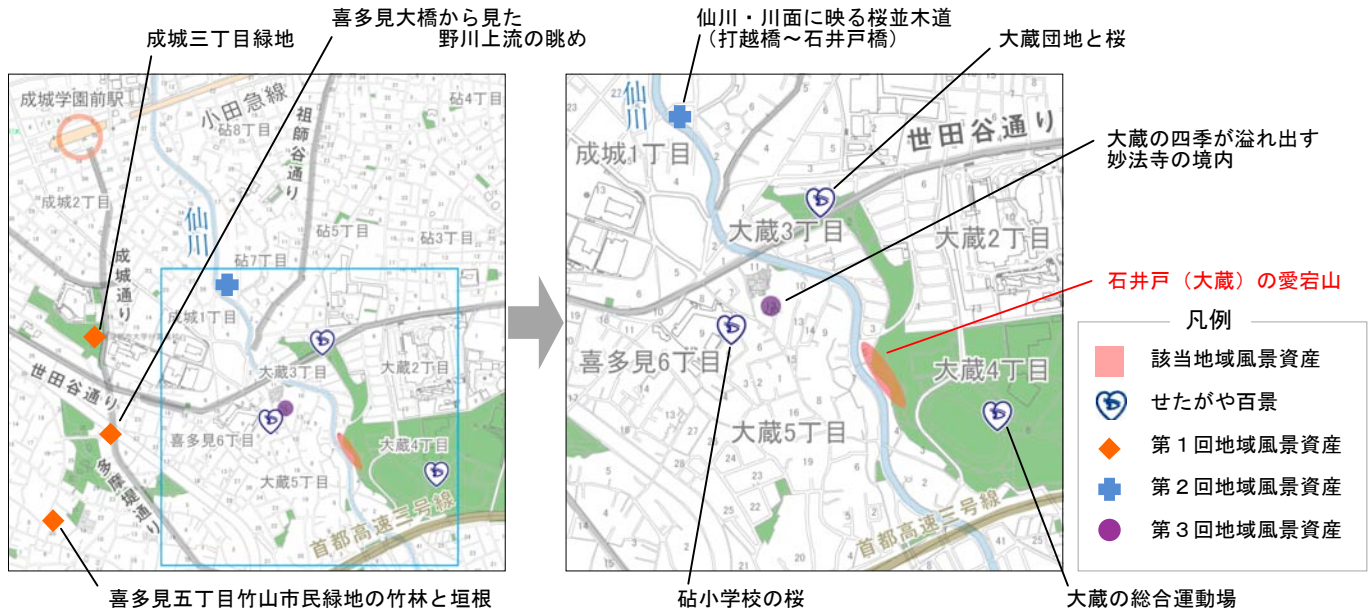


●名称

石井戸（大蔵）の愛宕山

●住所 世田谷区大蔵四丁目4番先

●位置図



●地域風景資産の特徴

国分寺崖線の一角、大蔵の仙川沿いにある豊かなみどりと湧水を有する斜面地は、地元では「愛宕山（あたごやま）」と呼ばれ、この辺りは「石井戸」と呼ばれていた。昔から子どもたちが遊んだ原風景として、今に残る風景をその地名とともに残し、後世に伝えていきたい資産である。



●地域風景資産の選定の背景等

里山を彷彿とさせるような、豊かな湧水を含む国分寺崖線の緑の斜面地は、鳥居や祠、野菜洗い場など、古くからの生活の営みも感じさせる、世田谷の原風景である。崖線の緑を守るため、地域の力で都市計画道路の計画変更も行った。この愛宕山の過去そして今の記憶を次世代に伝え、地域で原風景を守り育まれていくことが期待される。

●備考